



みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神
こばやし ゆうき
小林 優希

森の中にログハウスを建てる SDGsプロジェクトに参加

7月末、私は千葉県茂原市にある長柄町を訪れました。ミス日本×長柄町林業体験型宿泊推進協議会×ヨムーン(暮らし情報メディア)による、林業で地域活性化を目指す長柄町のSDGsプロジェクト「女子がゼロから一森でログハウスをつくってみた。」という企画に参加するためです。社会問題になっている荒れた森を整備するところから始め、伐採した木材でログハウスをセルフビルドするという

このプロジェクト。2016ミス日本みどりの女神の飯塚帆南さんが荒地を伐り開き、2017ミス日本みどりの女神の野中葵さんや2020ミス日本みどりの女神の井戸川百花さんが材の加工に携わるなど、歴代のみどりの女神が代々関わらせていただいております。今回、私もその後を継ぎ、木材の加工のお手伝いをさせていただきます。

木材加工の楽しさに触れ、時間を 忘れて作業に没頭

夏の日差しが差し込む中、作業がスタート。コロナ禍の上、台風などの天候の影響を受けて活動が延期になることも多く、予定よりも作業が遅れてしまっ



▲夢中になって作業をしていました

いるのだとか。8月末に上棟式が行われることが決まっていたため、この日に木材の加工を進めなければなりませんでした。

ログハウスのセルフビルドどころか、木材の加工を一度も経験したことがない私。初心者でも出来るという、棟木に穴を開ける作業と、転び止め作り、そして棟木の表面の磨きを任せられました。細かい作業や物作りが好きなこともあって、一度作業を教えていただくことも無我夢中に取り組み続けました。軍手の下で、指に出来たこの皮が剥けていたことも気づかなかったくらい、楽しい作業に没頭しました。

現場にいる全員で一致団結して棟 上げし、骨組みが完成

迎えた8月末。気持ちの良いほど晴れた日に行われた上棟式に、野中さんと参加させていただきました。上棟式では、屋根を支える小屋梁の上に棟木を組み立てていく作業が進められます。平屋の屋根の高さあたりに鉄骨の足場が作られ、そこまで脚立で上り、梁をカケヤで打っていくのです。

不安定な足場で、両足を開いて踏ん張



▲上棟式では高所での作業にドキドキ

りながら、梁をカケヤで叩きます。足場にハーネスをつけながら挑みましたが、高いところで重たいカケヤを持ちながらの作業。いつかバランスを崩して落ちてしまふのではないかと、終始ドキドキの連続でした。また、梁がスムーズにはまる瞬間はとても気持ちが良くて楽しかった一方、はまらない時は大苦戦。男性の力を借りながら力技ではめたりと、現場にいる全員で一致団結して棟上げを行い、無事骨組みを完成させることが出来ました。今後は、屋根や壁を作っていく作業になるそう。一から作り上げているログハウスの完成が楽しみでなりません!